

新宿区第三次男女共同参画推進計画の見直しについてのご意見と区の考え方

ご意見	区の考え方
<p>目標1「多様な生き方をみとめあう社会づくり」の文言を改善することを提案する。性的少数者はその様に生まれてきただけで、自分で生き方を選んだわけではない。タイトルを改め「多様な性と多様な生き方をみとめあう社会づくり」にする。</p>	<p>ご意見の趣旨に沿って取り組みます。</p> <p>目標1では、個別目標を「人権の尊重と男女共同参画を推進するための意識啓発」、「固定的な性別役割分担意識の解消」、「ライフステージに応じた健康支援」と、幅広く掲げています。このことから、この目標1のタイトルを改めることは考えておりません。</p> <p>一方、今回の見直しに当たっての課題として「LGBT等性的マイノリティについての理解の促進」を掲げていることから、目標1の取組みの方向のひとつである「②多様な生き方への理解促進と支援」を「②多様な性の理解促進と支援」とし、各事業の取組みを進めてまいります。</p>
<p>今回の計画の見直しに当たっての課題で、LGBT等性的マイノリティの理解促進を掲げているが、パートナーシップ制度を整えてほしい。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>パートナーシップ制度については、婚姻と同等の保障を行うためには、婚姻制度のあり方について十分な議論を踏まえて、国において結論を出すことが必要と考えているため、区での実施は考えておりません。</p> <p>第三次男女共同参画推進計画では、「多様な生き方をみとめあう社会づくり」を目標のひとつと定め、性には多様性があることを認め合い、性的マイノリティの方も生きやすい社会を目指しています。</p> <p>今後も計画に基づき、性自認や性的指向に関する意識啓発等に取り組んでいきます。</p>
<p>セミナー等はYouTubeだけでなく、双方向のやり取りができるものも必要。</p>	<p>ご意見の趣旨に沿って取り組みます。</p> <p>オンラインでも双方向のやり取りができるような取組みを実施していきます。</p>
<p>男女共同参画推進センターなど区の施設にWi-Fiを整備してほしい。</p>	<p>ご意見は今後の参考とさせていただきます。</p> <p>Wi-Fiの整備については、区施設全体の状況を見ながら慎重に検討します。</p>

ご意見	区の考え方
<p>子どもたちへの性自認や性的指向等についての意識啓発については、中学生だけでなく、小学校高学年からの取組が必要。</p>	<p>ご意見を計画に反映します。</p> <p>【事業6 性自認や性的指向等についての意識啓発の推進】</p> <p>小学校5年生に配布する男女共同参画啓発誌を改訂し、性自認や性的指向等についての意識啓発を行います（追加）。</p>
<p>JKビジネスなどへの対応を含め、若年層への取組も必要。NPOが実施しているバスカフェ等の取組はあるが、多様なニーズを抱える新宿区の特長として積極的に取り組んでほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨に沿って取り組みます。</p> <p>目標1の取組みの方向のうち、④性の商品化の防止（事業12～14）において、性に関わる相談体制の整備や正しい知識を理解するための意識啓発をNPO等と連携して行うこととしています。ご意見の趣旨に沿って、引き続き事業を進めてまいります。</p>
<p>配偶者暴力相談支援センターについて、相談の質の向上、相談員のフォローアップを事業化していくなどを考えることが必要。</p>	<p>ご意見を計画に反映します。</p> <p>【事業80 女性への暴力に関する相談体制の整備】</p> <p><u>配偶者暴力相談支援センターの職員等、被害者に接する職員に対し、研修への参加促進、外部講師を招いた内部研修等の実施により、知識等を習得する機会を設け、人材育成を図ります。（下線部分の修正・追加）</u></p>
<p>DVの支援者の養成についても検討してほしい。</p>	<p>ご意見の趣旨に沿って取り組みます。</p> <p>男女共同参画推進センターで行っている講座では、DV防止に関し一般者向け、支援者向けなど、対象を定めて実施しています。</p>
<p>DV施策には再発防止のために「加害者」支援も必要。内閣府の調査でも逃げるための支援からコミュニティにおける加害者対応と連動させた包括的な被害者支援への方向転換が要請されている。</p>	<p>ご意見の趣旨に沿って取り組みます。</p> <p>DVによる被害が繰り返されないためには、加害者への支援も重要です。こうした趣旨により、DVの加害者相談は、男女共同参画推進センターの悩みごと相談室で対応しています。また、男女共同参画推進センターで行っている講座では、DV加害者支援のための講座を実施しています。今後も加害者支援に向けた取組を継続して行っていきます。</p>